

3.11から5年

あの日のママが語る 産後ケアの大切さ

～やまがたてるえさんと考える 岩手初！産前・産後ケア～

千葉県から、「産後辛くなったら読む本」の著者である、助産師‘やまがたてるえさん’が来県！！
産後に辛い思いをした女性に寄り添い、産後ケアがなぜ今求められているのか？その大切さを、
やまがたさんの優しい語りで、教えて頂きます。

シンポジウムでは、日本全国で話題の「産後ケア」。実際に私たちが住む岩手県中部地域の産前産後を取り巻く状況はどうか？ 東日本大震災から、まもなく5年―。震災で被災し、妊娠・出産・子育てを経験してきた女性2名が、現在‘まんまるママいわて’のスタッフとして、当事者目線‘で、岩手県内で「産後ケアサービス」をうけられるよう、日々活動しています。

当事者と、行政・議員の立場から、それぞれの意見を話し合いながら「当事者目線で、岩手の産前・産後ケアを考える会」にしたいと思います。どうぞ、お気軽にお越しください。

講師

助産師・バースセラピスト

やまがた てるえ 氏

～Profile～

2児の母/バース・セラピスト
看護師・助産師・受胎調節実地指導員
NPO法人 JASH 日本性の健康協会 理事
NPO法人ピルコン アドバイザー
お母さん幸せ研究所 ファウンダー

地域の育児支援活動にかかわる傍らで、
著書：「13歳までに伝えたい 女の子の心と体のこと」
「産後、つらくなったら読む本」「ぽかぽか子宮のつくり方」等を出版。
「いのち ころろ からだ」をテーマとした「生まれてきてくれてありがとう」を伝える性の健康教育講演なども行っている。



シンポジスト

高橋修氏（花巻市市議会議員）

植田恵美子氏（花巻市健康福祉部健康づくり課 母子保健係長〈保健師〉）

佐々木一愛氏（まんまるママいわて 副代表）・志田香奈氏（まんまるママいわて 保健師）

日時：2月21日（日） 10:00～12:00

場所：花北振興センター・ホール

（四日町1-1-29）

参加費：500円

対象：産後ケアの必要性を感じている女性・ご家族・医療関係者・子育て支援関係者
・行政担当者・震災復興支援関係者・当事者支援団体の方 など

お申し込み・お問い合わせ：☎ info@manmaru.org

（稲垣）090-9603-4204 ※託児あり（要申込み：2/14まで）
（会場に、キッズスペースも設けています）

～タイムスケジュール～

10:00～10:30 やまがたてるえさん 講演会
10:30～11:30 シンポジスト4名から、産前産後に関する
意見・情報などを10分づつお話し
ファシリテーターより、質問・意見交換
11:30～12:00 質疑応答

主催：まんまるママいわて

